

高知県 安田町観光ガイドブック

やすだびより

鮎も心も躍るまち
安田町



やすだびより



安田町は歴史と自然、おいしいものが集まった町です。

四国霊場二十七番札所の
神峯寺、幕末・明治期に活躍した偉人ゆかりの史跡、日本遺産構成文化財の魚梁瀬森林鉄道遺構といった近世・近代の歴史が生き続
けています。

また、川遊びや釣り、キャンプなどで一年中遊べる清流・安田川、四季折々の草花と絶景が目を楽しませる神峯山などでは、自然をおもいつきり体感することができます。

そして、豊かな自然の恵みをうけて育った特産品を使ったグルメとお土産物が町のいたるところにあり、訪れる人をおいしいもので幸せにしています。

清流と山・里・海によりそい、笑顔がこぼれる町「安田町」を、安田朗といっしょに紹介していきます。

高知県安田町って、こんな町。

安田町公認イメージキャラクター
あん た ろ う
安田朗

安田町長

04 自転車で町なかめぐり ともだち旅
びっくりするほどの自然を堪能する ファミリー旅

10 やすだ・歴史の聖地へ

安田まちなみ交流館・和
偉人と歴史スポットの旅
祈りの風景 神峯
森林鉄道に恋をして

14 たべるめぐり

輝るぼーと安田
(土佐の元氣市・魚輝)
菓福
味工房じねん

16 おいしい手みやげ

お土産・テイクアウト

18 自然とあそぶ町

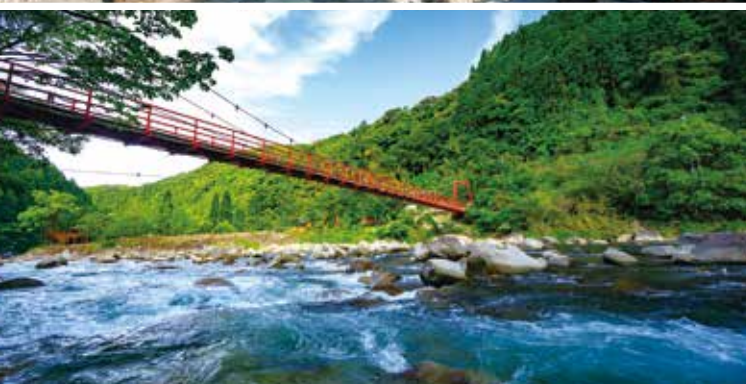
安田川アユおどる清流キャンプ場
せせらぎの郷 小川
未知なる安田の自然に驚く旅へ

21 安田へいらっしやい

安田町お試し滞在施設

22 安田町アクセスMAP

安田町の主なイベント・祭り



自転車で町なかめぐり

やすだともだち旅

自転車であわる女子二人の気ままな旅は、体験と歴史、おいしいものを楽しむちよっとぜいたくな、ホンモノ旅です。



無料のレンタサイクルでスタート！

土佐くろしお鉄道「ごめん・なはり線」の安田駅に到着したソノちゃん(写真左)とタベちゃん(写真右)の二人。駅に隣接する「安田町文化センター」でレンタサイクルを借りて、町なか観光にスタートです。

新しい自転車も登場!!



MAP P23 B-6

住／安田町大字西島40番地2 ☎0887-38-5711(町文化センター)

貸出時間／9:00～17:00 料／無料 駐／あり

※コインロッカーがあります。

※レンタサイクルについては、事前にご連絡ください。

スケジュール

- 09:15 高知駅からごめん・なはり線で安田駅へ
10:45 安田到着
安田町文化センターでレンタサイクルの手続き
【自転車移動 約5分】
11:15 安田まちなみ交流館・和で
常設展や建物見学(所要時間 約50分)
【自転車移動 約2分】
12:10 土佐の元気市で昼食(所要時間 約60分)
【自転車移動 約5分】
13:20 安田八幡宮や乗光寺、南酒造場、
安田川、唐浜休憩所など町なかを
自転車であると散策(所要時間 約100分)
土佐の元気市で買い物(所要時間 約20分)
【自転車移動 約6分】
16:09 安田町文化センターでレンタサイクルの返却
安田駅からごめん・なはり線で高知方面へ
(高知駅着17:24)

龍馬に影響を与えた人物が揃った町。

町商店街にある「安田まちなみ交流館・和」へ。ここは高知県内で他に類を見ない和洋折衷建築の交流館で、安田町の偉人を紹介する企画展なども行われています。日本建築の部屋では「この欄間や飾り窓、すごい技やね」と思わず声が出たソノちゃん。掛け軸など美術品をじっくり見た後は、陽の当たる縁側でくつろぎます。

詳しい施設情報はP10で紹介しています。

2



3

地元特産品でおいしいじかん。

昼食は「土佐の元気市」へ。田舎寿司やお弁当、惣菜など地元のおいしいものがずらりと並ぶコーナーで、安田町産のナスとトマトをたっぷり使ったナスカレーを購入。不定期提供のため、お店で見つけたら購入したいおすすめの一品です。店舗外のテーブルで美味しくいただきました。

詳しい施設情報はP15で紹介しています。





約270万年前に隆起した土地の化石。

アユちゃん、ユウくん楽しんでもらおうとパパが用意したのが「**安田町化石発掘体験場**」です。国道から車で5分ほどの場所ですが、土佐湾の海底が隆起した約270万年前の地層で、貝殻やサメの歯などの化石を見つけることができます。大きな貝殻を見つけたアユちゃんはパパと一生懸命に掘りおこし、ユウくんもママと貝殻をゲットして大喜び。二人ともすっかり夢中です。

南国ICから約1時間で安田町。

高知自動車道南国ICに11時に到着し、そこから安田町唐浜へ向かって約1時間。途中で青空と太陽の光に輝く太平洋が見えたときは、家族4人のテンションが上がったようです。正午前には安田町に到着しました。



MAP P23 A-5

住／安田町大字唐浜

☎0887-38-6714(町教育委員会)

駐／あり(バス等の駐車は要申請)

化石発掘から安田川でのキャンプなど
驚きの自然体験の連続に
家族揃って笑顔になりました。

びっくりするほどの自然を堪能する

やすだファミリー旅

びっくりするほどの自然を堪能する



スケジュール

1日目

安田町までのアクセス

県外から→南国IC
南国IC→安田町大字唐浜(国道32、55号)へ 約1時間

12:00 安田町化石発掘体験(所要時間 約50分)
【車で移動 約20分】
13:10 味工房じねんで昼食(所要時間 約40分)
【車で移動と徒歩 約20分】
バンダ島隧道など
森林鉄道遺構散策(所要時間 約90分)
【明神口橋から車で移動 約5分】
15:45 安田川アユおどる清流キャンプ場で宿泊

2日目

10:00 安田川アユおどる清流キャンプ場を出発
【車で移動 約15分】
10:15 大心劇場で映画鑑賞(所要時間 約90分)
【車で移動 約10分】
安田川ふれあい広場(所要時間 約30分)
【車で移動 約5分】
12:30 土佐の元気市でお買い物(所要時間 約30分)
13:00 自宅に向けて出発



5

安田川と酒蔵に立ち寄り。

乗光寺を東へ進み県道12号線を右折すると、1869(明治2)年創業の「**南酒造場**」があります。「南」の吟醸酒をお土産にしようとお邪魔しました。「酒蔵らしい風格のある建物だね」とタベちゃんは圧倒された様子です。その後、安田川沿いを走っていると、半分に割った石を固めた塀を発見。「こんな塀は今まで見たことないよね」とソノちゃん。二人とも町散策の魅力を感じたようです。

MAP P23 B-6

南酒造場

住／安田町大字安田1875番地

☎0887-38-6811

＊店頭及び土佐の元気市で販売しています



6 安田川から海へ、まだまだ続く旅。

そのまま安田川の河口にある安田川大橋を西へ行き、「**唐浜休憩所**」まで足を延ばして穏やかな海の景色を眺めた後、海沿いを自転車で気持ち良く走ります。「**土佐の元気市**」でお土産を買いました。

詳しい施設情報はP14、15で紹介しています。



レンタサイクルを安田町文化センターに返した二人は、今日の出来事を振り返りました。「幕末維新期に活躍した志士の足跡を追った気になったね。和の欄間や窓の細工などホンモノがいっぱいあったよ」「この町は食べ物おいしい。旬を味わえるグルメが豊富だったね」と大満足の日でした。

＊安田町の鮎に関することはP18で紹介しています。

観光全般の問合せ ☎0887-38-6713(町地域創生課)





山の中の映画館。

遊び疲れて昨夜はぐっすり休んだ子どもたちですが、川の音や野鳥の鳴き声に起こされて、普段より早起きました。今日はママが気になっていた、山の中の映画館「**大心劇場**」に向かいます。自然に囲まれた環境、手書きの看板、館内の両サイド一面に貼られている名作映画のポスターにママは興奮。この地域の財産だといえる映画館でした。

MAP P23 B-5

住／安田町大字内京坊992番地1

☎0887-38-7062

*上映作品、時間等はこちらを確認ください 駐／あり

<http://www.pikara.ne.jp/mamedenkyu/>



地元食材を楽しむ食堂。

化石発掘を楽しんだ後は、県道12号線を安田川に沿って馬路村方面へ進み、中山地区の食材を楽しめる「**味工房じねん**」で昼食をとります。ここは地元特産の自然薯を使ったじねん丼が名物。自然薯の粘りとおいしさに思わずニコリ。食後のデザートをおいしそうに食べている間に、パパとママは晩ご飯の食材に、安田川で取れた鮎や中山地区のお米などを買いしました。

詳しい施設情報はP15で紹介しています。



安田川と過ごす一日。

今日は「**安田川アユおどる清流キャンプ場**」で宿泊です。ここは安田川の中流域にあり、自然を思いっきり体感できる場所。さっそく子どもたちとパパは川遊びへ。きれいな水の中に魚を見つけ、喜ぶユウくん。ダムがない清流だからこそその魅力を感じたようです。

詳しい施設情報はP19で紹介しています。



土佐の元気市でお土産ゲット。

旅行の終わりに、「**土佐の元気市**」に寄りました。子どもたちが店内を見渡して向かったのが安田朗のグッズコーナー。たくさんのグッズに目移りしながら、「どれにしようか?」と相談しています。パパとママは、採れたて新鮮野菜に目を奪われ、その安さに驚いています。お土産のほかにも、帰りの車中で食べようと田舎寿司や大判焼き、ソフトクリームも買いました。

詳しい施設情報はP15で紹介しています。



親子4人の楽しかった1泊2日は、観光地をめぐる旅というよりは、清流・安田川にふれ、豊かな自然と文化を感じた旅でした。そして食べ物のおいしさも魅力的。ファミリー旅にピッタリの場所です。

観光全般の問合せ ☎0887-38-6713(町地域創生課)

桜の名所に子ども用ボルダリングが。

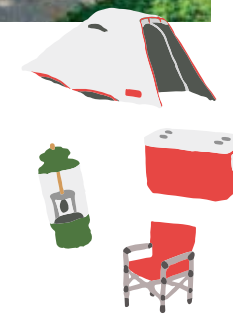
大心劇場から安田川沿いに南下して「**安田川ふれあい広場**」に到着。ちびっこクライマーに人気のボルダリングや複合型遊具があり、アユちゃん、ユウくんは駆け寄って遊びだしました。ここは桜の名所でもあり、お花見シーズンは大勢の人で賑わいます。また隣接する「**安田闘鶏場**」では12月から6月まで半年間にわたり、毎週日曜日に闘鶏が開催されています。

MAP P23 B-5

住／安田町大字西島 駐／あり

闘鶏に関する問合せ

☎0887-38-5709(中芸軍鶏組合)



ホンモノの迫力に圧倒される家族。

まず向かったのは「**バンダ島隧道**」です。1911(明治44)年開通当初の姿を残しているトンネルでした。山の緑に映える赤い「**明神口橋**」からは安田川が一望できます。ユウくんはその高さにちょっと緊張した様子。アユちゃんは「川の底まで見えるね。どうしてこんなにきれいな色をしているの?」とお気に入りの風景を見つけました。100年以上も前につくられたトンネルや橋の姿が、家族の記憶に焼きついたようです。

詳しい施設情報はP13で紹介しています。



偉人と歴史スポットの旅



石田英吉

MAP P23 B-3

1839(天保10)年、中山郷(現在の安田町大字中ノ川)に、村医者^{てんちゅう}の長男として生まれました。坂本龍馬の義兄高松順蔵の下で学問の手ほどきを受け、勤王の思想に目覚めました。大阪に出て緒方洪庵の適塾で蘭学と医術を学びましたが、同時に勤王志士たちとの交わりも深まり、吉村虎太郎とともに天誅組^{てんちゅう}の変に参加、その後は、久坂玄瑞、高杉晋作、木戸孝允、中岡慎太郎たちと交流しながら、明治維新まで次々と討幕の戦いに身を投じました。坂本龍馬の海援隊に入ると、交渉役として能力を発揮します。明治政府に出仕してからは、家柄や藩閥の後盾がないなかで、実力だけで、ひとりの官僚として栄達を遂げました。秋田県、長崎県、千葉県、高知県の知事を務めたほか、元老院議員、農商務次官、貴族院議員にもなりました。多くの幼馴染や学友が命を落とした野根山二十三士の悲劇をはじめ、幕末とともに戦い、明治を見ずに倒れていった仲間の顕彰活動には、生涯をかけて取り組みました。安田町の北寺境内には、石田を慕う地域の人びとが建てた顕彰碑があります。

☎ 0887-38-3047(安田まちなみ交流館・和)



乗光寺

MAP P23 B-6

安田町役場の北東に位置する「乗光寺」は、約400年の歴史があるお寺で、洋風の門構えは国の登録有形文化財に登録されています。また、書院や庭園など特徴があります。5代目住職の子、岡本寧浦は、幕末の土佐藩を代表する儒学者で、岩崎弥太郎や清岡道之助など千人を超える門下生を育てました。

📍 安田町大字安田1877番地3
☎ 0887-38-6545(書院見学は事前予約)



清岡治之助(屋敷跡の碑) MAP P23 B-5

安田町中山の大庄屋に生まれた清岡治之助は、幼少の頃から学問を好み、剣道、柔術、砲術を学び、文武両道に練達しました。1862(文久2)年、藩命により藩主に従って上京。武市半平太と共に行動し、公家や天下の志士とも交流します。帰国後は藩校田野学館で国学を講じますが、獄中の半平太を救おうと野根山二十三士副首領として行動し、後に処刑されました。

📍 安田町大字間下
☎ 0887-38-6714(町教育委員会)



高松順蔵、千鶴

MAP P23 B-6

1807(文化4)年に郷士の長男として生まれた順蔵は、33歳で郷土職を継ぎ、江戸で学問を学び、剣術を極めます。また書や篆刻^{てんこく}を学び、和歌をたしなむ文化人でした。坂本龍馬の長姉・千鶴の夫で、若き日の龍馬の思想形成に大きな影響を与えました。私塾には中岡慎太郎、石田英吉らがいました。

*写真は高松順蔵と千鶴の墓

📍 安田町大字安田
☎ 0887-38-6714(町教育委員会)



北寺

MAP P23 C-3

大同年間(806~810年)に空海が、金剛頂寺建立の際、馬路村から木材を安田川に流し、その一部を使って建てられたと伝わります。高知県下で国の重要文化財の木像仏が約80体あるなかで、そのうちの9体は、北寺に安置されています。

📍 安田町大字別所109番地1
☎ 0887-39-2171(拝観は要事前予約)



安田まちなみ交流館・和

MAP P23 B-6

📍 安田町大字安田1674番地1 ☎ 0887-38-3047
営 9:00~17:00(最終入館16:30まで) 料 企画展観覧のみ有料
休 火曜(祝日の場合はその翌営業日)、12月28日~1月2日 駐 あり



時を越えて偉人・歴史を訪ねる旅！
やすだ・歴史の聖地へ
幕末・明治維新後、日本に影響を与えた人材を輩出した、そのヒミツを探す歴史散歩が楽しい。

1913(大正2)年頃に建築された旧市川医院は大正生まれのレトロな洋館風で、土間でつながっている旧柏原邸は、大正から昭和初期の土佐東部の伝統的な和風建築。魚梁瀬の天然木材がふんだんに使われています。両方の建物が一体となった和洋折衷建築^{わやうせつしやうけん}は、県内でも他に類を見ない貴重なものでした。その所有者から寄贈を受けた町は、町並みの文化的な遺産と、町内外の交流拠点として活用するため、建物を修復して2010(平成22)年「安田まちなみ交流館・和」となりました。

安田町出身やこの地に縁のある幕末・明治維新の先人たちを常設展で紹介。年間を通じて企画展も行っています。

安田町には10軒28物件、国の登録有形文化財があります。



☎ 問 町教育委員会
0887・38・6714

13 やすだびより

MAP P23 B-6

地場産品販売センター 土佐の元気市

お弁当、新鮮野菜、お土産が豊富。

田舎寿司やお弁当、惣菜、手づくりパンやケーキなど、地元でつくられるおいしいものが揃い、採れたて新鮮野菜が並ぶ、活気がある元気市です。話題の安田朗グッズコーナーや安田町の地酒コーナーがあります。観光の休憩にぴったりのソフトクリームや大判焼きなどの実演販売があり、安田町や県東部のお土産もここで揃います。

- 住 安田町大字安田1716番地6
- ☎ 0887-38-3320
- 営 8:30~18:00(実演販売 9:00~17:00)
- 休 毎月第3水曜、年始
- 駐 あり



MAP P23 B-4

味工房じねん

山、川の幸に魅了される。

安田町から馬路村に向かう県道12号線沿いに中山地区があります。この地区は自然薯の産地。ここではすりおろした自然薯の加工品等の販売だけでなく、じねん丼としてお食事でもできます。また、安田川で取れた天然鮎(急速冷凍)、新鮮野菜、田舎寿司や惣菜、自家製アイスクリームなど品揃えが豊富です。

- 住 安田町大字正弘566番地
- ☎ 0887-39-2366
- 営 7:00~15:00(食事~14:00)
- 休 毎月第3木曜、年始
- 駐 あり



MAP P23 B-6

安田町のランドマーク
輝るぽーと安田

国道55号沿いにある「輝るぽーと安田」には、安田町や県東部の食材が揃った地場産品販売センター「土佐の元気市」、その日に水揚げされた鮮度抜群の魚が並ぶ「魚輝」があります。安田町の四季の恵みを、食を通じて感じることができる交流拠点です。



MAP P23 B-6

魚輝

鮮度抜群の魚がズラリ。

安田町近海で水揚げされたアジやサバ、カツオなど鮮魚がその日のうちに店頭へ並びます。また地元ならではの珍しい魚が入荷する時もあり、魚好きの心を揺さぶります。

- 住 安田町大字安田1716番地6
- ☎ 090-2789-4363
- 営 14:00~18:00
- 休 土曜、第3水曜
- 駐 あり



太平洋、安田川、山々と大地に育つ山菜や野菜、米など
安田の食材には数多の恵みがあり、
それをこの地で味わうシアワセをどうぞ。

安田町産の食材から生まれる自慢のグルメ
たべるめぐり

MAP P23 B-6

菓福

高知の「うまいもん」を全国へ発信。

菓福では、安田町及び県産品を使用した特産品・加工品の開発、製造を行っています。なかでも、国産本わらび粉と県内の厳選食材を独自製法にて練り上げた「土佐の茶菓子 和らびもち」は喉ごしの良いモチモチ食感が楽しめます。安田町産の牛乳と天日塩を使用した「土佐のハイカラ菓子 あんぱたちーずさんど」もおすすめの一品です。商品は土佐の元気市でお買い求めいただけます。

- 住 安田町大字安田1760番地1
 - ☎ 0887-30-1301
- ※上記は加工場になりますので、商品は土佐の元気市でお買い求めください



冷やしてモチリ、温めてとろーり
うちよせる口福の味



安田町の地酒

安田町には、日本酒の蔵元が2つあります。それぞれ「米」と「水」にこだわり、「酒造りの生命」ともいえる「水」は清流・安田川の伏流水が担っています。それぞれに、独自の「酒」造りを追い続け、地元高知だけでなく全国にファンを持っています。



土佐鶴酒造

(左) 土佐ベルガモットリキュール

イタリア原産の柑橘であるベルガモットを日本で初めて本格生産した高知県春野町産「土佐ベルガモット」を使った、香り高いリキュールです。華やかで豊かな香りが楽しめます。

(右) 純米大吟醸 tosa urara

酒造好適米「土佐麗」100%、酵母、水すべて高知県産を使用した純米大吟醸酒。フルーティーで華やかな吟醸香と、まろやかな飲み口が特徴です。

南酒造場

(左) 純米吟醸「南」

繊細でふくやかな味わい、そして口の中に広がる旨味。時間をかけてゆっくり語らう酒席に選んでほしい1本です。

(右) 特別純米 別誂「南」

おだやかな吟醸香が感じられる落ちつきのある純米酒です。しっかりとした味を食中酒としてお楽しみください。安田川の鮎とも好相性です!!



田舎寿し

高知県独自の食文化のひとつで、山里の旬の味を味わえる山菜寿司のことです。山と川の幸に恵まれた安田町のお米・柚子酢を使用した寿司飯に、味付けしたりゅうぎゅう、タケノコなどを乗せています。また、鮎の姿寿司(要予約)もあります。
(土佐の元氣市、味工房じねん)



山芋コロッケ

安田町中山地区の特産、自然薯をタネに使ったコロッケです。ホクホクとした食感の中に、自然薯の粘り、香りをふんわりと感じられます。冷凍での販売もしていますので、ぜひご賞味ください。(味工房じねん)



大判焼き

あっさりしたあんこ(小豆・白餡)がたっぷり入っている大判焼きは、元氣市の名物ファーストフード。
(土佐の元氣市)



ソフトクリーム

地元でとれる牛乳を使用し、無添加にこだわったソフトクリームです。濃厚だけど甘すぎないおいしさを味わってください。
(土佐の元氣市)



お土産



自然薯 自然薯とろろ(冷凍)

安田町中山地区の特産で、むかごから2年がかりで育つ自然薯は、強い粘りと深い味わいがあります。JA高知県中山事務所と、中山を元気にする会がつくっている自然薯とろろはすりおろす手間がいらず、簡単においしくいただけます。
(味工房じねん)



完全天日塩

清流安田川が流れ込む土佐の海水を原料に、太陽光と塩職人・田野屋紫蘭の技で結晶化させた「完全天日塩」です。(土佐の元氣市、味工房じねん)



安田朗グッズ

ぬいぐるみストラップ、バッジ、刺しゅう入りハンカチ、キーホルダーなど安田町公認キャラクター安田朗のグッズが数多く発売されています。手みやげやギフトにもおすすめです。※店舗により取り扱い商品が異なります。
(土佐の元氣市、味工房じねん、地場産品直売 神峯)



安田町のつぶつぶのある ゆずシロップ

安田町でとれた柚子を爽やかな香りと、すっきりした酸味が残るように、てんさい糖とはちみつだけで仕上げたシロップです。ドレッシングやマリネ、ヨーグルトやチーズなど乳製品、焼酎やジン、ウォッカなどお酒にもあいます。(土佐の元氣市)



ナスのパウンドケーキ

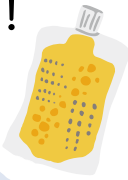
地元の女性グループが作る安田町特産のナスを使ったスイーツです。凝縮した果肉の甘みが、コーヒーや紅茶によく合います。(土佐の元氣市)

天然鮎(冷凍)

「清流めぐり利き鮎会」で2度のグランプリを受賞した安田川の天然鮎を、急速冷凍して旨みと風味を閉じこめています。塩焼きにしてお楽しみ下さい。
(味工房じねん)



安田町自慢の手みやげに出会う旅！
おいしい手みやげ
清流・安田川が育んだ自然いっぱいの中で
愛情をたっぷりうけて作られたおいしくて楽しい手みやげを
旅の思い出と一緒に持ち帰り。



町のシンボル・安田川に癒されながら

自然とあそぶ町

ダムのないホンモノの清流・安田川が町の北から南へ流れる安田町には、自然の声が聞こえそうなスポットがたくさんあります。



日本の原風景がある美しい川。

安田川は馬路村の稗己屋山ひえごややまに源を発し、土佐湾に注ぐ約29kmの川ですが、この川にはダムがなく、鮎やアメゴ、ウナギなど川魚の宝庫であり、今でも豊かな川だと感じる事ができます。特に鮎は、清流めぐり利き鮎会きりきあひで2度のグランプリを受賞するなど、その味は全国屈指といわれており、全国から釣り人が集ってきます。

流域では今も、懐かしい日本の山里の原風景があります。かつて森林鉄道で安田川を渡った赤い明神口橋は今もその姿を残し、中山間地で柚子の栽培、石積みいしづみの棚田で米づくりなどが随所にみられます。夏場は川遊びをする家族でにぎわい、子どもたちの元気な声が響きます。下流域では豊かで清らかな水が、施設園芸や醸造業など地場産業の振興に大きな役割を果たしています。

まさに安田のシンボルであり、宝物といえます。

太公望の憧れ、安田川で鮎釣り。

全国でも有数の鮎を育む安田川は、全国の釣り愛好家にとっても憧れの川です。鮎漁解禁の朝は壮観な風景になります。

○鮎漁解禁日 6月1日～9月30日

ただし、10月15日まで延長する場合があります。

*詳しくは安田川漁業協同組合

(0887-38-0271)でご確認ください。

MAP P23 D-2

安田川 アユおどる清流キャンプ場

23 時間滞在して、
あふれる自然と非日常を満喫しよう！

以前からファミリーにも大人気のキャンプ場がコールマンと提携して2021年4月24日にリニューアルオープンしました！ベットと一緒に泊まれるドッグフリーサイトや、ドッグランが新登場。32区画あるキャンプサイトは、テントを張る場所まで車乗り入れ可能なオートキャンプを中心に、バイク用のフリーサイトもあります。ロフト付きキャビンは、コールマンの最高級マットレスと寝袋、映画で見かけるようなアメリカ製グリルをご用意。新鮮な安田の野菜や土佐あかうしのステーキを豪快に焼くバーベキューを楽しみませんか？

住 安田町大字船倉500番地 問 0887-39-2266

受 10:00～17:00 休 火曜・水曜

予約センター 0887-30-1960



■レギュラーシーズンの料金

●キャンプサイト

宿泊 14:00～翌13:00 1区画 3,300円
昼間 10:00～16:00 1区画 1,650円

●オートキャンプサイト

宿泊 14:00～翌13:00 1区画 4,400円
昼間 10:00～16:00 1区画 3,300円

●バイクフリーサイト

宿泊 14:00～翌13:00 1台 2,200円
昼間 10:00～16:00 1台 1,100円

●ドッグフリーサイト

宿泊 14:00～翌13:00 1区画 5,500円
昼間 10:00～16:00 1区画 4,400円

●キャビン

宿泊 14:00～翌11:00(最大7人まで)
1棟4人まで17,600円、5人目以降一人当たり1,100円
昼間 10:00～16:00
1棟基本料金8,800円、一時間増すごとに1,100円

〈施設〉

- 有料のシャワー棟やコインランドリーもあります。
- キャンプセッソー式やキャンプ用品レンタルも可能です。

※ハイシーズンや利用料金詳細についてはHPをご覧ください。

<https://outside-yasudagawa.com/>

MAP P23 C-2

せせらぎの郷 小川

堰きとめた川プールで泳ぎたい。

旧小川小学校の講堂を改装した、自然豊かな田舎暮らしと宿泊が体験できる施設です。前を流れる小川川は、宿泊者の希望により夏休み期間中は堰きとめて自然河川プールになります。宿泊料金は安く、布団を持ち込めば大人が1人3,000円程度(寝具は別途)。

住 安田町大字小川52番地1

☎ 0887-38-6714(町教育委員会) *1週間前までに要予約



安田へいらっしやい



高知県安田町に移住をお考えの方に、地域のこと、住居のこと、仕事のご希望などを伺い、実現するための支援情報のご提供や、不安の解消といった側面からサポートしています。まずは「安田町お試し滞在施設」に来て、人の優しさや、自然、食など町の雰囲気を感じてみませんか。



安田町お試し滞在施設

設備等：
4LDK 風呂・トイレ・エアコン等完備 Wi-Fi使用可能

使用料：
7日以内5,000円、14日以内10,000円、1月まで20,000円

※使用条件、施設の空き状況等がありますので、
町地域創生課(☎0887-38-6713)までお問合せください。



安田町への移住・定住のポイント

満18歳になる年度末まで保険診療の医療費自己負担分を助成 安田さくら園の保育料等を完全無料化

赤ちゃん誕生祝金を支給 お試し滞在住宅の利用が可能 移住者の住宅改修費用を助成(上限あり)

就農を目指す研修生(65歳未満)に毎月一定額を(最長2年間)給付する新規就農支援

※定められた条件を満たしている方が助成や給付を受けることができます。 ※掲載データは2026年1月現在のものです。

問合せ/町地域創生課(☎0887-38-6713)



未知なる安田の自然に驚く旅へ



安田川ふれあい広場 MAP P23 B-5

安田川橋東詰から北へ約2キロ、川沿いの町道脇にある広場は、ソメイヨシノや八重桜(牡丹桜)など広場一帯が桜で覆い尽くされ、花見シーズンには大勢の人で賑わいます。また夏には河川敷まで下りて川遊びが楽しめ、遊具もあるので、一年を通じて家族連れのスポットになっています。

住 安田町大字西島
☎ 0887-38-6715(町経済建設課)
駐 あり



唐浜休憩所 MAP P23 A-6

国道沿いにあるヨーロッパ風の建物が目を引く休憩所です。スペインで一番美しい村ともいわれている安田町の姉妹都市、アンダルシア地方のモンテプリオをイメージした造りで、周囲にはオリーブの木々が、夕陽に染まる白い建物はなんともいえない素敵な雰囲気。太平洋を一望できます。

住 安田町大字唐浜
☎ 0887-38-6713(町地域創生課)
駐 あり



釜ヶ谷の滝 MAP P23 D-1

安田川の支流である逆瀬川は、本流の安田川が北から南に流れているのに対し、その反対に南から北に向かって流れる面白い川です。その川の中程にあり、滝壺に清く澄んだ水をため、絶え間なくしぶきを上げて流れ落ち、地元の人たちから「お釜様」といわれるほど、美しい滝です。
※現在は現地に行くことができません。

住 安田町大字瀬切
☎ 0887-38-6714(町教育委員会)



だるま夕日

水平線上に沈みかけた太陽が、まるでだるまが海から顔をのぞかせているように見えることから、「だるま夕日」と呼ばれています。冬に起こる珍しい自然現象で、毎年11月中旬から1月下旬に安田町不動の浜などからその様子を見ることができます。

住 安田町大字唐浜～安田
☎ 0887-38-6713(町地域創生課)



安田川ほたるの里 MAP P23 B-4 河川公園

自然との共生をテーマに川の中州を利用した公園で、小山やミニ屋外ステージなど子どもたちの広場として整備されています。また「花と香りの広場」とも呼ばれ、芝生広場など園内の一部に、四季折々の花が咲きます。

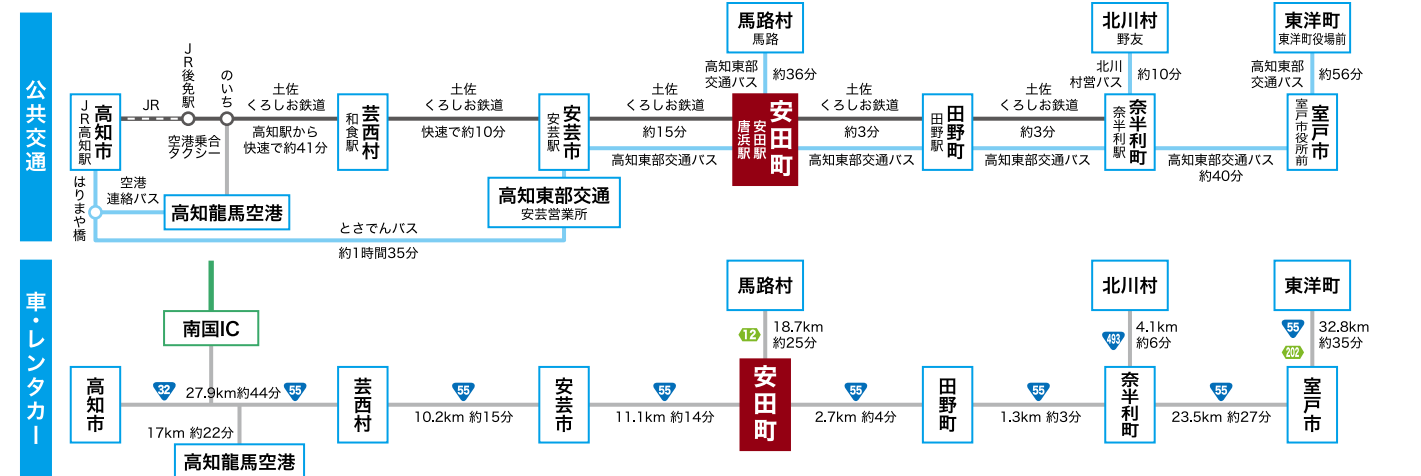
住 安田町大字内京坊
☎ 0887-38-6715(町経済建設課)
駐 あり



島石ピクニック広場 MAP P23 D-1

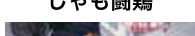
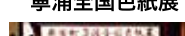
安田川を挟んで県道の対岸に位置し、赤い小さな吊橋を渡って広場へいきます。島石神社を中心に、遊歩道や、小さいお子さんが安田川で遊ぶスペースもあり、家族連れでにぎわいます。ここは森林鉄道の釜ヶ谷棧道や釜ヶ谷橋の見学スポットにもなっています。

住 安田町大字瀬切
☎ 0887-38-6715(町経済建設課)
駐 あり



安田町の主なイベント・祭り

3月 土佐の町家雛まつり 	6月 鮎漁解禁 	7月 唐浜駅まつり 	8月 安田の夢まつり 
---	--	--	---

10月	12月
神峯神社大祭 毎年10月28・29日に行われる秋の例祭は、神社から神輿を担いで石段を駆け下りる勇壮な祭りとして知られ、「神は天から降りる」といわれています。 	しゃも闘鶏 ※12月～翌6月までの毎週日曜  寧浦全国色紙展 
	なかやま山芋フェスタ 多目的交流センターなかやまで開催される年に一度の山芋の祭典。新鮮採れたて中山の特産品である自然薯など、地元の味を堪能してもらうための地区民あげてのお祭りです。 

